



資料1

令和2年2月12日

高山市長 國 島 芳 明 様

高山市総合計画審議
会 長 堀 泰



高山市第八次総合計画基本計画の変更について（答申）

令和2年2月5日付け31企画第354号にて諮問のありました高山市第八次総合計画基本計画の変更については、諮問に先立ち、当審議会委員の付した意見が反映された内容となっており、まちづくりの指針として適当であると認めます。

なお、計画の推進にあたっては、下記事項について配慮いただきますよう要望いたします。

記

1. 人口減少・少子高齢化の急速な進展をはじめ、高山市を取り巻く様々な社会情勢や環境の変化に対応するため、常に横断的かつ長期的な視点を持ちながら、大胆かつスピーディーに計画を実行することにより、市の将来のあるべき姿である「人・自然・文化がおりなす 活力とやさしさのあるまち 飛騨高山」の実現に向けて努められたい。
2. 生産年齢人口の減少や後継者、労働力不足などの課題に対応し、誰もが能力を活かして、生き生きと働ける環境を整えるとともに、活発な産業活動が行われるまちづくりをすすめていただきたい。
3. 子どもから高齢者まで誰もが、心身ともに健康な生活を送ることができる環境づくりに取り組んでいただきたい。
とりわけ、安心して子育てができる環境の充実を図るとともに、子どもや若者が、郷土への誇りと愛着を持ち、住み続けたい、帰ってきたいと思えるまちづくりをすすめていただきたい。
4. 地域におけるつながりの強化、地域を支える担い手の育成、地域間の連携などをすすめるとともに、安全・安心に暮らせる社会基盤の充実を図り、持続可能なまちづくりをすすめていただきたい。
5. 計画の趣旨や内容を広く市民にわかりやすく周知して情報共有を図るとともに、地域の多様な主体との協働・連携によって計画を推進していただきたい。
また、市民の目線に立ち機能的な組織体制の構築を図るとともに、急速な社会変化に対応した、迅速かつ的確な対応をお願いしたい。